

I 第24週の発生動向 (2015/6/8~6/14)

1. 伝染性紅斑については、上十三保健所管内で第21週から**警報**が継続しています。
2. 感染性胃腸炎については、患者報告数が189人から205人に増加しました。
3. 手足口病については、62人から71人に増加しました。
4. インフルエンザの患者報告数は7人で、迅速診断キットによる型別はすべてB型でした。

II 第24週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、**警報・注意報**については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
	小児科 内科															
インフルエンザ	1	0.08	1	0.07	2	0.13	2	0.29	1	0.11			7	0.11	2	
小児科	RSウイルス感染症	2	0.25	3	0.33	2	0.20			1	0.17	1	0.25	9	0.21	-1
	咽頭結膜熱	10	1.25	6	0.67	5	0.50	2	0.40	2	0.33			25	0.60	2
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	24	3.00	16	1.78	27	2.70	1	0.20	4	0.67	1	0.25	73	1.74	-10
	感染性胃腸炎	69	8.63	25	2.78	41	4.10	9	1.80	18	3.00	43	10.75	205	4.88	16
	水痘	10	1.25			5	0.50	2	0.40	1	0.17			18	0.43	-7
	手足口病	22	2.75	14	1.56	30	3.00	2	0.40	3	0.50			71	1.69	9
	伝染性紅斑	2	0.25	2	0.22	10	1.00			16	2.67	1	0.25	31	0.74	9
	突発性発しん	3	0.38	2	0.22	8	0.80			1	0.17			14	0.33	-10
	百日咳			1	0.11									1	0.02	1
	ヘルパンギーナ															-3
眼科																
急性出血性結膜炎															0	
流行性角結膜炎	3	1.50			3	1.50							6	0.55	-3	
基幹	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎					1	1.00							1	0.17	0
	マイコプラズマ肺炎					3	3.00					4	4.00	7	1.17	5
	無菌性髄膜炎															-1
感染性胃腸炎(ロタウイルス)					1	1.00	2	2.00			2	2.00	5	0.83	2	

III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患)：青森市+東地方3人、弘前1人、八戸1人(2015年計:146人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)：弘前3人、八戸1人(2015年計:7人)
- ・つつが虫病(四類全数把握疾患)：青森市+東地方2人、むつ1人(2015年計:8人)
- ・カルバペネム耐性腸内細菌感染症(五類全数把握疾患)：青森市+東地方1人(2015年計:7人)
- ・侵襲性肺炎球菌感染症(五類全数把握疾患)：弘前1人(2015年計:9人)

IV 病原体検出情報 検出情報はありませんでした。

感染症の窓

中東呼吸器症候群(MERS) (二類全数把握疾患)

中東呼吸器症候群は、コロナウイルス科ベータコロナウイルス属の MERS(Middle East Respiratory Syndrome) コロナウイルスによる急性呼吸器症候群です。ヒトコブラクダが MERS コロナウイルス(下図)を保有しており、ヒトコブラクダとの濃厚接触が感染リスクと考えられています。

中東呼吸器症候群(以下 MERS)は主として中東地域で患者が報告されており、2015年6月3日までに、ヒト感染の確定症例1,179例(死亡442例:致死率38%)が WHO に報告されました。ヒト感染の報告地域は中東地域の他、アフリカ、ヨーロッパ、アジア、北アメリカの25か国ですが、中東地域以外の国からの報告は、すべて中東地域への渡航歴のある人、もしくはその接触者でした。この中東からの輸入例を発端とした国内感染事例が報告されているのは、イギリス、フランス、チュニジア、そして現在発生が続いている韓国の4か国です。

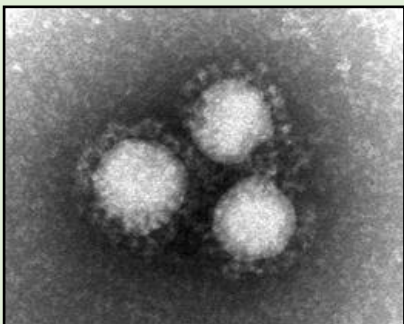


図:MERS コロナウイルスの電子顕微鏡写真

(出典:国立感染症研究所 HP)

主な症状は、発熱、せき、肺炎などで、下痢などの消化器症状を伴う場合もあります。特に高齢の方や、糖尿病、慢性肺疾患、免疫不全などの基礎疾患のある人で重症化する傾向があります。予防方法は、MERS の発生が報告されている地域では、咳やくしゃみなどの症状がある人との接触を避け、また動物(ラクダを含む)との接触も可能な限り避けることです。

平成27年1月21日、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)において、MERS が二類感染症に指定されました。

なお、厚生労働省 HP に「中東呼吸器症候群(MERS)に関する Q&A」(http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/mers_qa.html)がありますので、ご覧ください。

【参考】厚生労働省 HP、国立感染症研究所 HP

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2015年第14週～2015年第24週）

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
14	H27.3.30 ~ H27.4.5						
15	H27.4.6 ~ H27.4.12			カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人			
16	H27.4.13 ~ H27.4.19			アメーバ赤痢1人			
17	H27.4.20 ~ H27.4.26	カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人				侵襲性肺炎球菌感染症1人	
18	H27.4.27 ~ H27.5.3		つつが虫病1人				
19	H27.5.4 ~ H27.5.10			侵襲性肺炎球菌感染症1人			
20	H27.5.11 ~ H27.5.17			侵襲性肺炎球菌感染症1人 後天性免疫不全症候群1人			
21	H27.5.18 ~ H27.5.24	つつが虫病1人 梅毒1人		クロイツフェルト・ヤコブ病1人			
22	H27.5.25 ~ H27.5.31		侵襲性インフルエンザ菌感染症1人	急性脳炎1人		つつが虫病1人 梅毒1人	
23	H27.6.1 ~ H27.6.7	つつが虫病1人 ウイルス性肝炎1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人			つつが虫病1人	
24	H27.6.8 ~ H27.6.14	つつが虫病2人 カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症3人 侵襲性肺炎球菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人			つつが虫病1人

VI 結核(二類全数把握疾患) (2015年第14週～2015年第24週)

単位：人

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
14	H27.3.30 ~ H27.4.5		2	4	1		
15	H27.4.6 ~ H27.4.12		1	1		1	1
16	H27.4.13 ~ H27.4.19		1		1		
17	H27.4.20 ~ H27.4.26	3	1			1	
18	H27.4.27 ~ H27.5.3		2	2			
19	H27.5.4 ~ H27.5.10		1	1		1	
20	H27.5.11 ~ H27.5.17	4		1		1	2
21	H27.5.18 ~ H27.5.24	1	1	1		3	
22	H27.5.25 ~ H27.5.31		1	3	1		1
23	H27.6.1 ~ H27.6.7	2	1	4		1	
24	H27.6.8 ~ H27.6.14	3	1	1			

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国

(2015年第1週～第22週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マリアリ	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	
累積報告数	9551	4	53	523	20	15	79	121	8	3	1	13	6	50	94	33	3	11	2	453	5	
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	副症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	種痘性クブトコクス症	破傷風	パノマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症		
累積報告数	428	90	518	229	6	71	208	545	34	107	16	1205	111	857	49	34	23	79	21	13		

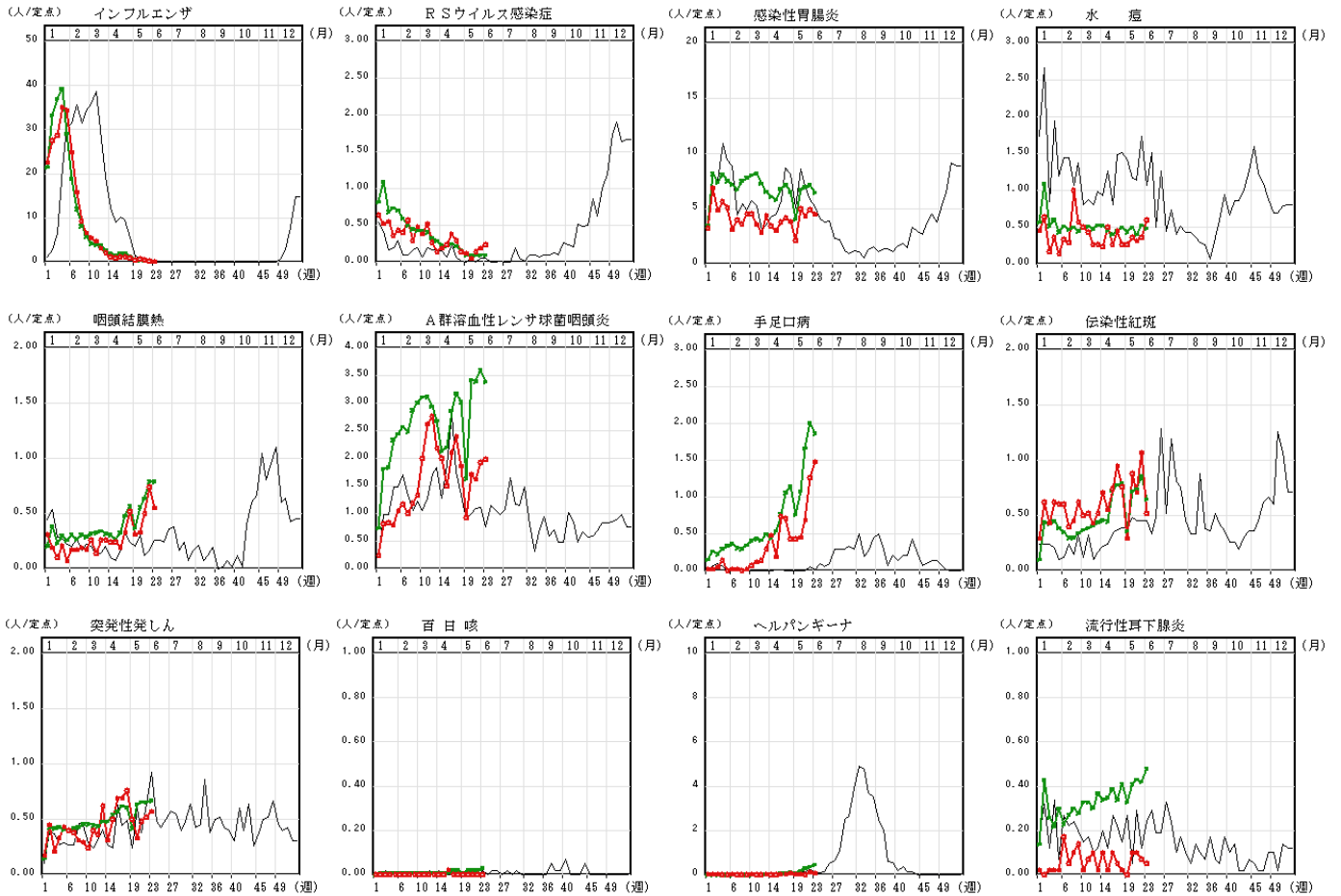
青森県

(2015年第1週～第24週累計)

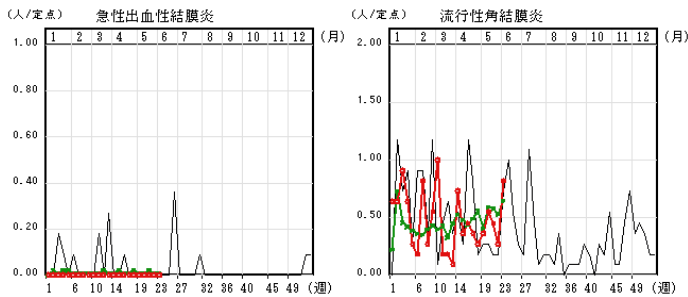
分類	二類	三類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	つつが虫病	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒		
累積報告数	146	7	8	5	1	7	1	1	2	2	9	2	3		

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2015年第23週)

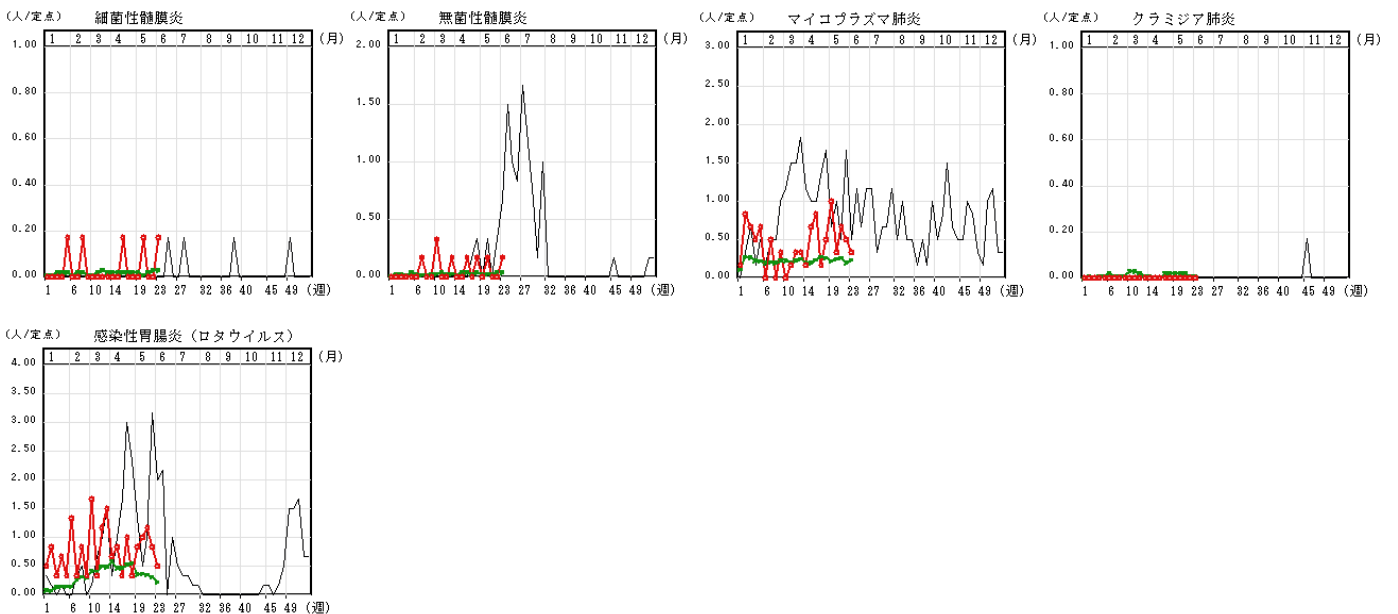
グラフの説明 ○—○は2015年青森県、——は2014年青森県、×—×は2015年全国



IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2015年第23週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2015年第23週)



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

第24週の報告はありませんでした。

平成27年報告件数及び発症者数

施設種別		月(週)		1月	2月	3月	4月	5月	6月		計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18-22週	23週	24週			
介護・老人福祉関係施設	件数	7	5	1	0	2	0	0	15		
	発症者数	107	94	47	0	27	0	0	275		
児童・婦人関係施設等	件数	3	0	1	1	0	1	0	6		
	発症者数	61	0	5	19	0	14	0	99		
障害関係施設	件数	0	0	1	0	0	0	0	1		
	発症者数	0	0	10	0	0	0	0	10		
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0		
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0		
計(月別)	件数	10	5	3	1	2	1	0	22		
	発症者数	168	94	62	19	27	14	0	384		